

シロクローバ「マキバシロ」の奨励品種への編入

(畜試 草地部)

1. 来歴

フランスのTregorから選抜された6栄養系とオランダのPertina及びオーストラリアの系統25864から選抜された母本をもとに合成品種法によって育成された。

2. 特性の概要

- 1) 開花期は6月2日で、耐寒性・耐病性は中程度であるが、フィアと比べてやや強い。
- 2) ランナーが太く、フィアと比べ葉長がやや大きく、大型に属する。
- 3) イネ科との混播で適度なマメ科率を維持し多収である。

3. 選定の理由

生育が旺盛で、永続性、耐雪性、耐寒性に優れ多収であり良好な混播適性を有し、放牧利用に適している。

4. 適応地域

県下全域

5. 普及上の留意点

- 1) イネ科牧草との混播で利用する。
- 2) 1番草を採草に用い、2番草以降を放牧に用いる兼用草地での利用も可能であるが、採草専用には適さない。

6. 参考資料

- 1) 昭和55年 農林登録候補シロクローバ「東北9号」に関する試験成績
(東北農業試験場)
- 2) 平成3年 シロクローバ「マキバシロ」に関する試験成績
(北海道農業試験場他)

7. 試験成績概要

図-1 混播収量の比較

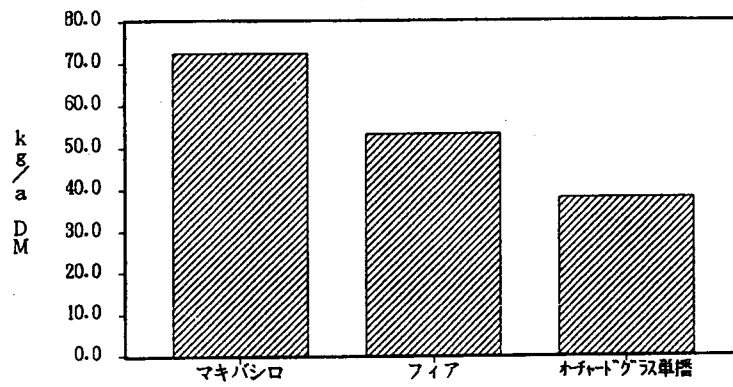


図-2 クローバ率の推移
多肥区

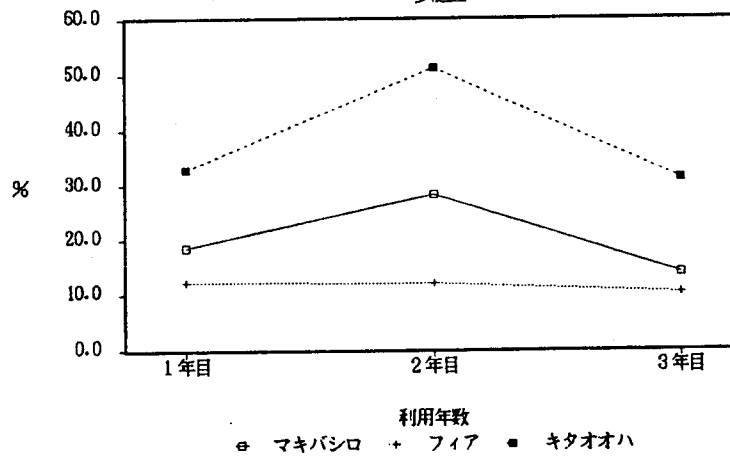


図-3 クローバ率の推移
少肥区

